

見守り制度の継続及びサロン活動の多様化と活性化


事業の内容	<ol style="list-style-type: none"> 一人暮らし高齢者、高齢者のみ世帯、障害児在宅世帯を対象に福祉委員(見守り員)を配置する。 サロン活動の情報交換を行い、活動の活性化と多様化を推進する。
実績	<ol style="list-style-type: none"> 見守り推進委員会(自治会・福祉委員)を開催し、情報交換を行った。
課題	<ol style="list-style-type: none"> 「ボランティアグループ情報簿」の作成と情報管理。 地区でのボランティア重複活用の排除とルール作り。 「ボランティアグループ」としての活動を了解して戴けるか、の意思確認。
推進計画	<ol style="list-style-type: none"> 自治会ごとに福祉委員(見守り員)を選出する。 見守り推進情報交換会を開催し、見守りのノウハウ、注意点等を共有し福祉委員(見守り員)のスキルアップを図る。 サロン会活動への参加を積極的に働き掛ける。 「ボランティアグループ情報簿」を作成し、事務局で一括保管する。
年度	具体策
25年度	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">各自治会毎に見守り実施</div> <div style="text-align: center;">見守り推進情報交換会開催</div> <div style="text-align: center;">サロン活動の推進と研修</div> <div style="text-align: center;">「ボランティアグループ情報簿」の作成・管理</div> </div>
26年度	
27年度	
28年度	
29年度	

災害時支援体制の確立

事業の内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 必要に応じて各自治会単位の支援活動を行う。 2. 馬宮地区社会福祉協議会の災害時支援態勢の確立を図る。 	
実績		
課題	<ol style="list-style-type: none"> 1. 通常時での見守り対象者の個人情報管理を万全にする。 2. 災害発生時の情報発信・共有と支援活動の迅速化。 	
推進計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 災害時、各避難場所の救援情報を把握し、支援の迅速化を計画する。 2. 災害発生時の馬宮地区社会福祉協議会として支援体制を確立する。 	
年度	具体策	
25年度	救援情報の把握と支援の迅速化を計画	災害時の支援方法の確立 (地域の連帯感醸成)
26年度	↓	
27年度	↓	
28年度	↓	
29年度	↓	

Ⅲ. 社会福祉ネットワークの事業化

各種団体間の連携促進

事業の内容	1. 新しい事業を積極的に推進するために、地域内の各種団体・関連機関との連携を深め、情報の共有と交換を図り、協働を進める。
実績	
課題	1. 団体・関係機関等と個々の連絡はあるが横断的な連携が取れていない。
推進計画	1. 団体・関係機関等との連絡会を通じ、連携を強化し、協働をする。
年度	具体策
25年度	団体・関係機関等との連絡会を通じ連携を強化し、協働する 
26年度	
27年度	
28年度	
29年度	